



デビュー50周年記念

千住真理子

ヴァイオリン・リサイタル

日本を代表するヴァイオリニスト・千住真理子
デビュー50周年のアニバーサリーイヤーに
感謝を込めて贈る名曲選

千住真理子 (ヴァイオリン)

©Kiyotaka Saito (SCOPE)

山中惇史 (ピアノ)

©Takafumi Ueno

Program

J.S.バッハ：G線上のアリア / ヘンデル：ラルゴ / モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第11番より、アンダンテ・グラツィオーソ〜トルコ行進曲
ベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ第5番「春」へ長調 作品24 / エルガー：愛の挨拶 / クライスラー：愛の悲しみ / クライスラー：愛の喜び
マスネ：タイスの瞑想曲 / ドビュッシー：月の光 / ポンセ：エストレリータ〜小さき星に〜 / サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン

※曲目は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

2025 11/15 土

開演14:00(開場13:30)
下関市民会館 大ホール

●チケット発売日

財団友の会 先行発売…8月16日(土) 一般発売…8月30日(土)
※発売初日のみ、窓口販売10:00~、電話予約・オンライン購入13:00~

●プレイガイド

下関市民会館、ドリームシップ、e+(イープラス)
ローソンチケット(Lコード:61450)、チケットぴあ(Pコード:302-783)
下関市民会館オンラインチケット

全席指定

一般……………3,500円
高校生以下…1,000円

◆財団友の会 会員は
一般のみ500円割引

※未就学児の入場はご遠慮ください。

予約制

無料託児
サービス

2025年11月1日(土)まで要予約
下関市民会館までお問合せください。



「下関市民会館」「ドリームシップ」
公式アカウント 更新中!

お問合せ: 下関市民会館
TEL.083-231-6401



友の会
ポイント
割引
使えます!

デビュー50周年記念

千住真理子 ヴァイオリン・リサイタル

下関でも絶大な人気を誇る千住真理子、2年ぶりの来関！
デビュー50周年にふさわしい名曲を選びすぐったりリサイタルをお楽しみください。



©笹口悦民

デビューから50年のヴァイオリニスト人生。

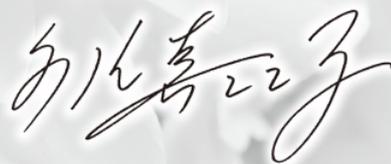
山あり谷ありの険しい道のりを、疾走したり歩いたり、時に道に迷い遭難すればひとに助けられ、涙流せば友達がそばにいてくれた。

苦楽を共にした父母も恩師も、今はもういないけど、相棒ストラディヴァリウス“デュランティ”がいてくれる。

いま奏でる音は、この50年のわたしの全て。

この音色をあなたの心に届けたい。精一杯の「ありがとう」をこめて――

千住 真理子



千住 真理子 Mariko Senju (ヴァイオリン)

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールでのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2020年は近年発見されたイザイの未完のソナタを新たに録音し、その楽曲を加えたイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」<完全版>を再リリース。2021年「蛍の光〜ピースフル・メロディ」、2022年「ポエジー」、2023年千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」をリリース。また山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」のサウンドトラックに参加。2024年は9月にデビュー当時の音源も収録した「ベスト&レア」アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎え全国で演奏会を行う。春にはデビューアルバムと同じくCD「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲」を発売。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <https://marikosenju.com/>



©Takafumi Ueno

山中惇史 Atsushi Yamanaka (ピアノ、作曲・編曲)

東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。器楽、室内楽、合唱など多数がヤマハミュージックメディア、カワイ出版などから出版されている。

またピアニストとしては2018年にリサイタル・デビュー。共演者としても絶大な信頼を置かれ、国内外の著名なアーティストに指名を受け共演を重ねる。ピアニスト、作曲家、アレンジャーとして参加した各CDはレコード芸術誌にて特選盤、準特選盤に選出されている。東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団など多数のオーケストラとの共演、作品が演奏されている。2020年にピアニスト・作曲家の高橋優介とのピアノデュオ「176」(アンセットシス)を結成。自らの編曲によりオーケストラ作品の演奏に挑み、第1弾として「レスピーギ/ローマ三部作」をメインに演奏会を開催、同時にカワイ出版より楽譜出版、ライブ録音もされた。

2021年10月13日にアルバム「ジョン・ウィリアムズ・ピアノコレクション」をエイバックス・クラシックスより発売。さらに2023年2月22日に最新アルバム「ショパン - 旅路 -」を日本コロムビアより発売。2021年には、ピティナ・ピアノコンペティション特級新曲課題曲、朗読音楽劇「シャーロックホームズ」(主演・山寺宏一、脚本/演出/構成・野坂実)の作曲を担当、セントラル愛知交響楽団定期公演に招かれリスト/ピアノ協奏曲第1番を演奏など、活動は多岐にわたる。

X(旧Twitter):@ginyamagin Instagram:@yamanaka.atsushi